

大学等の寄付金募集戦略—はじめの一步

須山 弘一（島根大学 教育・学生支援部入試課 係長）

講師略歴

2005年から島根大学職員。2017年4月から総務部総務課法規・基金グループに所属し、3年半、島根大学支援基金における企画立案、広報、営業、基金委員会の事務局などファンドレイジング活動に関わる。日本ファンドレイジング協会大学チャプター運営委員に2021年度から参画。認定ファンドレイザー（日本ファンドレイジング協会）。「国立大学法人の年度実績報告書に見る大学ファンドレイジングの取組」8回連載（文部科学教育通信誌 2022.6.12～2022.9.20）など執筆。大学行政管理学会中国・四国地区研究会 講師（演題：大学ファンドレイジングの基本と学び）（令和4年10月2日）など講師経験。

プログラム概要

近年、大学においてファンドレイジング（寄付金募集活動）が注目を浴びています。日本の財政状況が厳しさを増している中、大学では寄付金等の外部資金獲得を強化する必要が高まっているためです。

そうした中、日本の大学ファンドレイジングには大きな伸びしろがあり、さらに、適切な形で継続していくことで、寄付者層の維持や拡大につなげることができる、安定的な財源確保に繋がる手段と考えられます。

このプログラムでは、寄付金戦略において有効な「大学ファンドレイジング7つのステップ」を説明し、事例を共有することで、参加者の所属機関の寄付金戦略の強化に繋がる機会にさせていただくことを目的に実施します。

参加者のみなさまには、所属機関の寄付金募金活動の関連資料（可能な範囲で構いません）を手元に置いて、積極的にグループワークに取り組んでいただくこと、このプログラムを通じて組織を越えた交流をしていただくことを期待しています。

準備物・事前課題

受講者の準備物：

所属機関の寄付金募集の取組みに関する資料（直接に共有していただくものではありません。お持ちいただくことが可能な範囲の資料で構いません）

事前の課題等：

①以下で公開している「国立大学法人の年度実績報告書に見る大学ファンドレイジングの取組」計8回連載（文部科学教育通信誌 2022.6.12～2022.9.20）をお読みいただいた上でご参加ください。

https://researchmap.jp/suyamako2283/published_works

②上記連載記事に記載の「7つのステップ」に基づき、所属機関の寄付金募集の取組み状況について確認しておいてください（グループワークでの学び合いに活用いただきます）。

主な受講対象者

大学等の寄付募集担当者もしくは、大学等の寄付募集に関心を持つ者

到達目標

1. 大学ファンドレイジング「7つのステップ」を説明することができる。
2. 「7つのステップ」に基づき、所属機関の特徴と課題を抽出することができる。
3. 所属大学の課題に関する課題解決の方法を提案することができる。
4. 他機関の職員と共に学び合う雰囲気づくりに貢献できる。